

金管バンド「ファイナルコンサート」15日(木)

お家の皆様をはじめ、地域の皆様、通学合宿でお世話になっている大学生まで、多くの皆様にご来場くださいました。

お忙しい朝の時間にありがとうございました。皆様に見守られるなか、ファイナルコンサートが行われました。6年生にとっては小学校生活最後の演奏会となります。『こんにちはトランペット』『テルーの唄』は、北部地区吹奏楽祭の演奏からまた一層、完成度が高まっていました。そして、

6年生の皆さんがこのコンサートに向けて選曲し、約1ヶ月という短期の練習で仕上げた『栄光の架け橋』の演奏もありました。さすが、6年生ですね。この曲や最終演奏に向けての想いに支えられて一生懸命取り組んできたのでしょうか。そのことが感じられる、心に残る演奏でした。ブラボー！



6年生『栄光の架け橋』

そして、6年生を送る側の5年生のみの演奏も素晴らしかったです。休み時間に自主的に練習したり、休日に楽器の持ち帰りをして練習したりと強い練習意欲が感じられる5年生。1年間の積み重ねの成果として、大きな成長を感じさせて

もらいました。

お忙しい朝の時間にもかかわらず今日まで、熱く熱く、そして一人ひとりを活かすご指導を積み重ね



最高の演奏でした

ねてくださった顧問の中島先生・矢口先生には心から感謝申し上げます。そして、朝早くから子どもさんを送り出してください、励まし支えてくださったお家の皆様にも心より御礼申し上げます。今年度もすばらしい

金管バンド活動となり、6年生がそこから巣立っていきました。

6年生の皆さん、今日まで本当にありがとう。最後の演奏かっこよかった。

第3回 避難訓練

今回は、「子どもたちに期日と時刻の予告なし。近くに先生もいない。出火場所を聞いて、避難経路を自分で判断して逃げる」という内容で、ご指導いただいた消防署員さんも、「1・2回からハードルがあがっていますね」とおっしゃる内容のものでした。児童が階段でけがをして救出される、という内容も含まれていました。休み時間の突然の緊急放送に、一瞬「わっ」というような声があがりました。1回のみ放送内容をしっかり聞き取り



聞く姿勢 ◎

(放送の繰り返しをなくして取り組んでいます)、避難を開始することができました。高学年児童のまわりに低学年児童が集まり、小聲で避難を促してともに行動する、よい姿も見られました。しかし、気持ちを切り替えるまでに時間がかかり、白い歯を見せたりにやにや顔が見られたりした一部の児童がいて、そこはとても残念であったことを伝えました。

もっと、多くのケースを想定して、いざというときに実際に役に立つ訓練を行わなくてはならないと考える反面で、緊急時にどう対応しなくてはいけないか、すべてを想定しての準備は難しいことです。だからこそ、「自分の命は自分で守る」の基本は変わることなく、「お・は・し(も)」で示されています。どれだけ真剣に訓練に取り組むことができるか、これからも一層大切に考えたい事からです。

宿泊合宿 (第二公民館にて)

11日(日)から28名の児童が参加して、1週間の宿泊合宿が行われています。テレビやゲームのない環境で、大学生の皆さんや合宿に参加している



開校式に村長さんより

友だちと、夕食作りや入浴、学習やレクをとともに行い、人とのかかわりを深めています。参加している子どもたち、本当に楽しい様子です。生活リズムや体調を崩すことなく1週間の合宿を終えてほしいものです。